

## 令和6年度都立石神井高校における教科指導の重点

| 重点科目 | 重点課題   | 取組   | 発展的取組   |
|------|--|--|---|
| 国語   | 思考力を高めるための学習活動の充実  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「書く」活動を積極的に取り入れた授業の実施</li> <li>・グループワークを活用した、主体的・対話的で深い学びを実現する学習活動の推進</li> <li>・読書活動の推進</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・複数教材の読み比べを取り入れた「探究的な学習」を実施</li> </ul>   |
| 社会   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・広く深い知識の習得と理解を進める指導の工夫</li> <li>・様々な事象を結びつけて、課題解決の能力を養う指導の充実</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題解決を達成するための教材の開発</li> <li>・大学共通テストの問題分析を基に、指導内容を精選</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題解決に向けた取組みの進捗度を測るために、適切に発問、小テスト、発表を組み合わせ実施</li> <li>・探究する姿勢・能力養成のため、授業内で協働学習を実施</li> </ul> |
| 数学   | 事象を数学的に解釈、数学的に表現や処理する技能の育成   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・数学的な見方・考え方を働かせる教材の開発</li> <li>・問題解決の過程において、粘り強く考え、かつ、論理的に考察する活動を重視した授業を実施</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学入試共通テストの問題に対応できる思考力・判断力・表現力を育成する指導の実施</li> <li>・他教科と連携して事象を教科横断型に発展する授業を実施</li> </ul>     |
| 理科   | 「実験・実習」における学習活動の充実   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学入試を見据えた力を養うことが出来る教材の開発</li> <li>・実験結果から、論理的に考察する力を養う実験授業の実施</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・各科目の実験実習の情報提供と共有</li> <li>・実験の研究発表やパネルディスカッションの実施</li> </ul>                                |
| 保健体育 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯スポーツへの接続を意識した主体的な学びの充実</li> <li>・実生活に生かすための学び</li> </ul>             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペア、グループ学習の充実及び生徒主体の活動の充実</li> <li>・実生活と結びつけるための教材の開発</li> <li>・ICTを活用した学びの機会増加</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・協働学習による探究活動の実践と個別最適化な学びの実践。</li> <li>・観点別評価の充実及び生徒へのフィードバックの実施</li> </ul>                   |
| 芸術   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・感性を高める芸術活動の充実</li> <li>・思考力を育成する課題設定</li> </ul>                        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・表現と鑑賞の関連及び様々な分野の芸術に触れさせる教材の工夫</li> <li>・生活や社会に紐づいた課題の設定</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導と評価の一体化を図るための芸術科の指導計画の作成</li> </ul>   |
| 英語   | 「聴く(聞く)」ことの指導の充実   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・アクティビティを多く取り入れ、「話す・聴く」機会を増やす</li> <li>・全学年でリスニングの教材を使い週1回以上学習</li> <li>・チームティーチングにおいて、JETやALTが話す時間を可能な限り多くとる</li> <li>・生徒が受験した模試のリスニングテストの問題を授業でも復習・確認として扱う</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期テストにリスニング試験を入れる。</li> <li>・オンライン英会話の実施</li> <li>・実用英語検定試験の受験を推進(本試験・英検IBA)</li> </ul>     |
| 家庭科  | ・実生活にいかすことのできる学びの実施  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・実習の機会の充実</li> <li>・作業や体験活動、映像等を取り入れ、動きのある展開</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的な場面を想定した探究活動</li> <li>・他教科とのかかわりを把握した授業展開</li> </ul>                                     |

## 情報

- ・身近な事象から抽象的な概念へ
- ・協働学習による深い学び

- ・年間を通じたオンデマンド授業の実施
- ・生徒が自ら考え、主体的に取り組める教材の作成
- ・協同学習によって、より深い知識や抽象的概念の獲得を促進

- ・社会で起こっている事象から課題を発見し、ICTを活用して解決する方法を自ら考案する学習を実施
- ・限られた条件の中で情報伝達の方法を工夫する学習の実施